



亀中だより

No.29 令和4年10月31日 文責:岡田



For The Students!

修学旅行は沖縄から広島・関西へ…

21世紀に入るとともに検討が始まり、2002年からコロナ禍前の2019年まで18回にわたって本校は沖縄への修学旅行を実施してきました。当時は県内でも2校目の沖縄修学旅行でしたが、その後市内の中部中学校、関中学校も沖縄へ行くようになり、亀山市の中学校は沖縄修学旅行が浸透してきました。

しかしながら、コロナ禍で3年間沖縄への修学旅行は実施できず、来年度の修学旅行もまた沖縄方面から関西方面に変更を余儀なくされました。また、昨今の情勢を鑑みつつ、いろいろな条件をあらためて検討する中で、令和6年度の修学旅行から、本校は目的地を沖縄から広島を中心とする方面への変更を決定させていただきました。これまでに市内3中学校、亀山市教育委員会とも協議し、3中学校が独自に修学旅行を計画しています。本校としては、校内での検討を重ね、以下のような理由により変更へと至りました。

- 航空機の小型化傾向により、200人規模の航空機確保が難しくなっている
- 航空機利用のため日程の自由度が少なく、行事の調整が困難になっている
- 体験プログラムの内容にもよるが、旅行全体の費用が高額になってきている
- 教育旅行の目的として平和学習を継続したい

近年航空業界は、国内線航空機を小型化にシフトしています。この影響もあって沖縄を視野に入れていた令和5年度の修学旅行では航空機が確保できませんでした。200人規模の旅行を実現するには、2便に分かれたり、発着地を2つに分けたりということも必要になってきます。これは旅行の行程を考えると事実上無理といえます。

また航空機の確保にあたっては、希望の日時を確保できることもほとんどありません。そのため他の行事(体育祭、定期テスト等)との日程調整



も非常に難しくなっています。さらには旅行費用も以前より高額になってきており、現在の円安等に伴う物価の上昇は、経済不安にもつながっています。

これらを総合的に判断した結果、修学旅行で大切にしてきた平和教育は今後も継続し、目的地を沖縄から広島を中心とした中四国・関西方面へと変更させていただくこととなりました。みなさまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。